

4 温室効果ガスの排出の状況

計画期間 1 年度目 (令和 6 年度) の温室効果ガス排出の状況

①エネルギー起源二酸化炭素の排出量		1,410	t-CO ₂
（温室効果ガス換算排出量）	②非エネルギー起源二酸化炭素		t-CO ₂
	③メタン		t-CO ₂
	④一酸化二窒素		t-CO ₂
	⑤ハイドロフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑥パーフルオロカーボン類		t-CO ₂
	⑦六ふっ化硫黄		t-CO ₂
	⑧三ふっ化窒素		t-CO ₂
	⑨エネルギー起源二酸化炭素（発電所等配分前）		t-CO ₂
	温室効果ガス総排出量（①～⑨合計）		1,410

5 温室効果ガス排出量の抑制に係る目標の達成状況

(1) 温室効果ガス排出量の抑制目標の達成状況

温室効果ガスの抑制の目標設定方法	総排出量
------------------	------

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和5年度		令和8年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度			
温室効果ガス総排出量	1,511	t-CO ₂	1,466	t-CO ₂	1,410	t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率(対基準年度)			3.0	%	6.7	%		%		%
温室効果ガスみなし総排出量						t-CO ₂		t-CO ₂		t-CO ₂
削減率(対基準年度)						%		%		%

項目	基準年度の実績		目標		計画期間の実績					
	令和5年度		令和8年度		令和6年度	令和7年度	令和8年度			
原単位当たりの排出量										
削減率(対基準年度)				%		%		%		%
原単位当たりのみなし排出量										
削減率(対基準年度)						%		%		%

(2) 進捗状況に対する自己評価(目標の達成/非達成の理由)

「温室効果ガスの排出量を1年間に1%ずつ、3年間で3%削減する。」という目標に対して、令和6年度は基準年度(令和5年度)より6.7%の大幅な削減をすることができた。その主な要因としては、令和5年度に実施した中央監視装置更新により冷温水機の自動制御の改善等が図られ、その結果、都市ガス及び電気使用量が削減できたことによる。

備考1 温室効果ガスの排出の状況のうち、エネルギー起源二酸化炭素を除く温室効果ガスの排出量については、温室効果ガスの種類ごとに3,000トン以上の場合に限り計上してください。

備考2 温室効果ガス総排出量とは、エネルギー起源二酸化炭素の排出量と、種類ごとに3,000トン以上の温室効果ガスの排出量の合算をいいます。

備考3 原単位当たりの排出量とは、事業活動の特性を的確に示すものとして事業者自らが選択する工場等の床面積、製品の出荷量その他の指標になる単位量当たりの温室効果ガス排出量をいいます。

備考4 温室効果ガスみなし総排出量とは、温室効果ガス総排出量に対し、クレジット等の環境価値に相当するもの及び非化石エネルギー等の利用による温室効果ガスの削減量等を調整したものをいいます。

6 温室効果ガスの排出の抑制等に係る措置の実施状況

(1) 自らの事業活動に伴い排出される温室効果ガスの抑制に係る措置の実施状況

取組の区分	具体的な取組の内容	取組の目標	取組の実施状況
一般管理	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー使用量の把握、計測、記録、分析 主要設備等点検、記録 	継続する。	年間を通じてエネルギーの使用量把握に努め、過去6年間の電気使用量の推移をチェックするなどして、適宜分析を行った。また、各種設備の機器類の点検を、計画通り実施した。
省エネルギー・省資源の推進 (冷暖房設備)	<ul style="list-style-type: none"> 夏季冬季においては、冷温水機のスケジュール運転。 冷温水機の稼働台数を、負荷に応じて自動調整。 老朽化した冷暖房設備の更新。 	継続する。	夏季冬季における冷温水機のスケジュール運転を行い、時間外（夜間・休庁日）の冷暖房においては負荷に応じた空調運転に努めた。また、令和6年度は、4・5・7Fの空調設備更新工事を実施した。
省エネルギー・省資源の推進 (空調設備)	<ul style="list-style-type: none"> 空調設備の運転時間の適正な運用管理。 省エネに配慮した室内温度設定。 	継続する。	定例会議を通じて各部署に節電協力を要請し、適正な室温設定に努めた。
省エネルギー・省資源の推進 (照明設備)	<ul style="list-style-type: none"> トイレ、給湯室等、未使用時に照明等のスイッチをこまめに切る。 共用部(ラウンジ系統)の間引き消灯。 LED照明の導入。 	継続する。	定例会議を通じて各部署に節電協力を要請し、執務室の昼休み時間帯や利用頻度の低いトイレ等の消灯を行った。また、令和6年度は、B2・B1・1F・外灯の灯具取替工事(LED化)を実施した。
省エネルギー・省資源の推進 (昇降設備)	<ul style="list-style-type: none"> 休庁日、夜間等の運転台数制限。 	継続する。	夜間や休庁日（職員採用試験等の実施日を除く）においては、乗用エレベータ2台中1台のみの稼働とした。
省エネルギー・省資源の推進 (湯沸器)	<ul style="list-style-type: none"> 休庁日においては、運転休止モードとする。 	継続する。	湯沸器の給湯温度設定について利用者の同意が得られた場合は60℃設定とした。また、令和6年度は、2F湯沸室の給湯設備を更新し省エネ化を図った。
省エネルギー・省資源の推進 (ウォシュレット便座ヒーター)	<ul style="list-style-type: none"> 各階の洋式トイレウォシュレット便座ヒーターの季節に応じた適正な運用管理。 老朽化したトイレ設備の更新。 	継続する。	夏季においては便座ヒーターを完全停止し節電に努めた。また、冬季においても節電モード切替による運用管理を行った。また、令和6年度は2Fのトイレ改修を実施し、ウォシュレットを更新した。

指針第2号様式

(2) 非化石エネルギーの利用の状況

ア 非化石電気の使用状況

指標	非化石電気の使用状況						目標 (2030年度)	
	令和 6年度		令和 7年度		令和 8年度			
使用電気全体に占める 非化石電気の比率	17.4	%		%		%		%

イ 計画期間 1 年度目 (令和 6 年度) における非化石エネルギーの利用状況

非化石エネルギーの使用量	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
k1	t-CO ₂

(3) 未利用エネルギーの利用の状況

ア 計画期間 1 年度目 (令和 6 年度) における未利用エネルギーの利用状況

導入年度	設備等の種類	概要 (規模、性能、発生エネルギー量等)

イ アのうち、他のものに供給した電力及び熱

区分	未利用エネルギーの種類	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
電力		t-CO ₂
熱		t-CO ₂

(4) 環境価値 (クレジット等) の活用の状況

計画期間 1 年度目 (令和 6 年度) におけるクレジット等の利用

クレジット等の種類	創出地	温室効果ガス換算量 (みなしの削減量)
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂
		t-CO ₂

(5) みなしの排出量の算定に利用した温室効果ガス換算量 (みなしの削減量) の合計

t-CO ₂

(6) 電気の需要の最適化に資する措置を実施した日数

0	日
---	---

(7) その他の地球温暖化対策に係る措置の実施状況

・昨年度に引き続き、各部署において事業系廃棄物の資源分別化を徹底した。

(8) 「環境保全の日」等に特に推進すべき取組の実施状況

・環境保全の日においては、おおむね定時退庁を実施した。